

## ◎ 現状と課題

- 多様化・複雑化する教育課題と、新しい学びのスタイルに対応するこれからの教育の実現
  - 国が示す「教育」を基本に、「香芝市の地域の実情に応じた望ましい学校環境」を地域の声で検討する必要がある
- 人口推計では少子化が予想されており、今後の学校運営・学級編成等について基準の検討が必要
- 学校施設の維持管理の課題への対応
  - 建築から長い年月が経過しており、老朽化対策や防災・減災、耐震等の対策が必要
  - 財政的な課題（今のままでは、学校施設の約3分の1しか維持管理することができない）
- 香芝市のまちづくりの方針と教育環境づくりとの間に、整合性を図ることが必要

※学校施設の長寿命化や機能向上を進めるには  
**まず「望ましい学校環境」を明確にし、要否や順序を決める必要がある**

## ◎ 教育環境の充実・持続可能な施設管理を、「一体的・総合的」に進めていくことが重要

- 「令和の日本型学校教育」を基に、少子高齢化等、教育を取り巻く社会情勢の変化に対応した、これからの香芝市の子どもたちにとって望ましい学校教育環境を最優先に検討
- 地域コミュニティの核としての学校（地域の交流の場、防災機能の強化等）
- 将来にわたって安全・安心な学校施設の維持管理（老朽化等対策と教育環境向上の一体的な推進）
- 地域の実情に応じた、様々な課題についての協議

# 香芝市にとって望ましい学校環境とは

学校教育の目的や方針はさまざま示されています

国

教育基本法第5条第2項

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の2

公立小学校・中学校の適正規模・適正配置に関する手引き

香芝市

第5次香芝市総合計画 基本構想

第5次香芝市総合計画前期基本計画 政策1施策4

香芝市学校施設等長寿命化計画

すべての児童・生徒が安全に安心して、個別最適な学びと協働的な学びにより、主体的・対話的で深い学びができる教育環境

目指す姿の実現を加速するための、新たな学びの在り方

**「令和の日本型教育」**

全ての子供たちの可能性を引き出す

個別最適な学び

協働的な学び

小中連携は？

先生の数？

クラスの数？

1クラスの児童・生徒数は？

ICT環境は？

地域連携は？

建て替えは？

校区変更は？

香芝市が考える教育環境基準